

07 フードロスをなくせ!いちごスイーツプロジェクト

～規格外いちご「かおり野」を使用したお菓子のプロデュース～

規格外いちご使用!皇學館大学生考案スイーツ!!

規格外いちご「かおり野」を使用したスイーツの試作や販売をすることで、楽しくフードロスの削減に貢献することができます! レシピの提案やスイーツ作り、パッケージやチラシのデザイン、店頭販売など、自分の得意分野を生かして1からの商品開発に関わることができます。

メンバー数 : 11名
活動場所 : 伊勢市
実施主体 : 伊勢農業協同組合 (JA伊勢)
担当教員 : 池山 敦 (教育開発センター)
活動年度 : R05



1年の活動まとめ・考察 (成果と課題)

最初は「楽しそう」「いちごが好き」という興味から始めた学生が多い活動でしたが、フードロスを削減できるようなレシピの提案やスイーツ作り、パッケージやチラシのデザイン、店頭販売など、自分の得意分野を生かして1からの商品開発に関わることができました。どのようなスイーツを作るのかターゲット層、デコレーション、実際に売る際の容器やラッピングなどを学生メンバー及びJA職員で考案しました。

本プロジェクトに参加している学生メンバーが11人と比較的多いため、会議や試作などの活動日程を調整するのが大変でした。そのため、対面会議でなくてもできることはLINEのノート機能や投票機能などを活用して臨機応変に対応しました。今後の課題としては、それぞれの役割分担を明確にし、一人一人が責任を持って取り組む必要があると思います。

何度も試作を重ね、12月16日(土)には、JAフェスタくらしの大相談会にて試食会を行い、「いちご尽くしドリンク」「いちごを使ったおもちどら焼き」「いちごカップケーキ」「いちごの琥珀糖」の中から投票で、2~3月に商品化、販売するスイーツを決定しました。投票の結果、「いちご尽くしドリンク」が1番目に多く票数を獲得しましたが、伊勢保健所より営業許可の関係上、販売できないことが判明しました。今後は、2番目に多く票数を獲得した「いちごを使ったおもちどら焼き」を販売する予定で、価格設定やデコレーションの話し合い、ポップなどの準備を進めていきます。販売が終わった後も売上などを分析し、今後の販売に向けて商品の改良を重ねていきたいと思っています。

月別活動

- 7月 プロジェクト発足
- 8月 キックオフミーティング、スイーツ案・レシピ案
- 9月 試作
- 11月 試作
- 12月 試食会・投票 (JAフェスタ みんなの大相談会)
- 1月 販売商品ブラッシュアップ
- 2月 販売商品ブラッシュアップ
- 3月 販売(予定)



活動を通して学んだこと

商品の原価や販売価格、トレンドや客層を考えながら商品を決定したことを通して、商品企画から販売までの難しさを学ぶことができました。また、何度も会議や試作を行い、メンバーと一緒にアイデアを出していくたびに新しい発見がありました。自分1人の力だけではできないこと、協力することの大切さを実感しました。

実施主体からのコメント

伊勢農業協同組合 (JA伊勢)
ご担当者様

短い期間の中でレシピの策定や試作、商品の決定などに携わっていただきました。商品化までに試作を重ねて改良していったことからわかるように、失敗を恐れず挑戦し続けることが大事です。

また、ときには自分や同じプロジェクトメンバーの意見を取り入れるだけでなく、お客様として想定しうる第三者目線で批判的に考えることも必要です。一つ一つの選択にしっかり根拠を持てるようになれば、より良い商品作りに繋がります。販売に向けて最後まで頑張りましょう。

担当教員より

教育開発センター 池山 敦

畑で取れた食べ物が私達の食卓に登るまでに様々な方が関わってくださっています。その中に入り、企画を練り、施策を重ね、試食を一般の方にしていただき、まもなく商品化というところまで来ることができました。これは、JAさんの全面的なお力添えがあったことをまず認識するとともに、それでも難しさを感じたことと思います。学生時代の失敗は、社会人生活の肥やしになると思います。今回のプロジェクトの中で上手く行かなかったこと「こそ」皆さんの宝ものになるのではないかと思います。商品化まであとわずか。しっかりと仕上げてください。

📢 こんな人におすすめ!

- いちごが好きの人
- スイーツ作りが好きの人
- 商品開発や販売に興味がある人
- コミュニケーション能力や社会人基礎力を身につけたい人



成果物 / 制作物